

自己点検・評価報告書

平成28年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉大学

平成29年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学における動物実験等を適正に行うため、全学の規程として国立大学法人千葉大学動物実験実施規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程に基づき、動物実験計画の審査、実施状況及び結果の把握、飼養保管施設及び実験室の審査、実験動物の飼養保管状況の把握、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、その他動物実験等の適正な実施に関して学長に報告又は助言を行う組織として、全学動物実験委員会が置かれている。 動物実験等を実施していない部局からも委員を選出している。また、外部委員2名が委員会に参加している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 千葉大学における動物実験の取扱いについて（通知） 千葉大学動物実験計画書 飼養保管施設設置（変更）承認申請書 実験室設置（変更）承認申請書 施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届 動物実験計画の審査フロー図 飼養保管施設・実験室の設置フロー図 動物実験（施設）体制図 平成28年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書 飼養保管状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程及び諸様式等により適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 国立大学法人千葉大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 国立大学法人千葉大学病原体等安全管理規程 国立大学法人千葉大学化学物質管理規程 国立大学法人千葉大学放射線障害予防規程 国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程 千葉大学動物実験計画書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験等については、上記諸規程により適正に定められている。</p> <p>遺伝子組換え実験及び病原体等を取扱う動物実験等については、当該動物実験計画申請時に、関連する遺伝子組換え実験等計画申請及び病原体等取扱申請が承認されているか（申請されているか）確認をしている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設設置（変更）承認申請書</p> <p>全44ヶ所の飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書）</p> <p>飼養保管施設一覧</p> <p>飼養保管状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>学内の全ての飼養保管施設の存在及び実験動物の飼養保管体制を把握するとともに、各施設に実験動物管理者を置いている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし。</p>
--------------

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成28年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨</p> <p>平成28年度動物実験委員会 議事要旨</p> <p>動物実験計画の審査フロー図</p> <p>飼養保管施設・実験室の設置フロー図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画については、毎月動物実験委員会によるメール審査を実施している。</p> <p>また、メール審査のほかに、委員が一堂に会する集合会議を2回実施し、学内における動物実験等の体制や教育訓練などについての審議を行うとともに、特に苦痛度の高い動物実験計画（D以上が中心）について委員会審査の内容の検証を行っている。</p> <p>飼養保管施設及び実験室の設置については、申請があった際に、原則として委員会の写真調査によって審査を実施している。また、必要に応じて立ち入り調査を行う体制が整備されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成28年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨</p> <p>平成28年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書</p> <p>平成28年度動物実験に係る年度報告（動物別使用匹数・飼養匹数）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成28年度は、476件の動物実験計画の申請があり、473件が承認された（3件は取下げ）。なお、473件のうち修正等意見が付された動物実験計画の件数は304件であった。</p> <p>「平成28年度動物実験に係る年度報告」については、473件全て提出された。</p> <p>平成28年度は、動物実験実施中に動物実験実施者がマウスに指を噛まれるという事故が2件あった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>上記事故については、2件とも大学保健室及び近隣の医療機関で治療を受け、治癒の確認をしている。事故後の対応として、「実験動物はやさしく丁寧に扱うこと」「扱う際は軍手等の厚手の手袋を使用すること」等を当該実験の実験責任者から実験実施者へ既に周知済みであり、再発防止を図っている。また、本事案について大学全体へ周知を行い、注意喚起を行った。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成28年度動物実験に係る年度報告（安全管理に関する報告）</p> <p>平成28年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨（安全管理を要する動物実験計画一覧として）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>千葉大学における安全管理を要する動物実験等（遺伝子組換え動物実験、病原体等を取扱う動物実験、化学発癌・重金属を扱う動物実験及び放射性同位元素・放射線を使用する動物実験）について、本学における事故は全て総合安全衛生管理機構と動物実験委員会に報告されているが、関係する事故報告件数は0件であり、安全に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>



#### 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管状況報告書 飼養保管施設一覧 全44ヶ所の飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>44ヶ所全ての飼養保管施設において、実験動物管理者の指導のもと、注意事項や飼育管理等記載されたマニュアル（標準操作手順書）が整備・保管され、当該手順書に基づき管理することとしている。</p> <p>平成28年度は、マニュアルのひな形を関係法令・規程の内容が網羅できるものへと見直した。併せて、承認されている全ての飼養保管施設に、現状に基づくマニュアルの更新・再作成及び委員会への提出並びに再作成後のマニュアルの飼養者への周知を依頼した。全ての飼養保管施設からマニュアルの提出があり、委員会で内容を確認した。</p> <p>また、実験動物の飼養保管の状況について、「飼養保管状況報告書」等により報告を求め、全ての飼養保管施設から提出があり、委員会で内容を確認した。飼養保管状況について改善すべき箇所があると思われる施設については、委員会から改善の指示を行った。その後、改善を行った旨の報告を実験動物管理者から受けており、全ての施設において飼養保管状況が適正であることを確認している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>飼養保管状況の把握については平成29年度以降も継続的に実施し、実験動物の適正な飼養保管状況が維持されるよう、委員会から改善の指示を行っていく。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設一覧</p> <p>実験室一覧</p> <p>飼養保管状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>新規設置の際には原則として全学動物実験委員会による写真調査（必要に応じて立ち入り調査）を実施しており、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に管理されることを確認している。設置時に確認できた施設等の不適切な箇所については、改善を求め、改善の確認を行い、承認している。</p> <p>承認後に生じた施設の不具合等の有無については、「飼養保管状況報告書」により委員会が確認し、改善の指示を行い、その後改善が行われたことを確認している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練の開催通知 教育訓練の開催記録 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（教育訓練教材として）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成28年度の教育訓練については、西千葉地区2回、亥鼻地区3回、松戸地区2回の集合形式に加え、千葉大学 Moodle2016 を利用したオンライン形式（前期・後期の一定期間、随時）によって実施し、合計1,218名が受講した。動物実験実施者等には年1回の受講を義務づけており、動物実験計画書審査の際に教育訓練出席者名簿で受講の有無を確認している。 オンライン形式の教育訓練を前期・後期ともに実施することによって、多忙な研究者でも教育訓練を随時受講することが可能になり、全学的な動物実験実施体制の向上に繋がったと考えられる。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 千葉大学ホームページ（国立大学法人としての公表事項） 動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価及び関連事項の情報公開については、平成21年度から実施している。 国動協の要請する情報公開項目については、全て対応済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当しない。